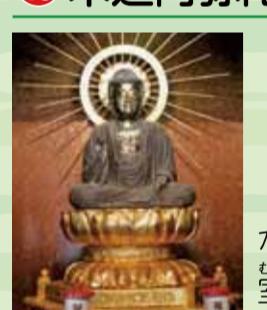


御宿文化財マップ



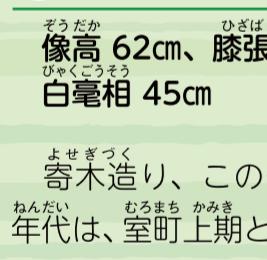
*マップは実際の縮尺と異なります。また、各店舗の詳細は変更になる場合があります。危険区域や個人所有の文化財については、見学をすることが出来ないものもありますので、ご了承ください。

18 木造阿弥陀如来坐像



像高 53cm、膝張り 47cm
蓮台高さ 22cm
寄木造り、玉眼で胸の厚さ
がいさかが薄く、製作年代は、
室町末期と推測される。

19 木造大日如来坐像



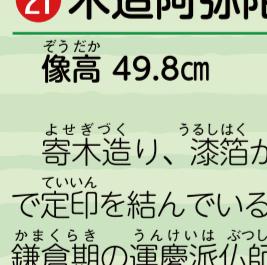
像高 62cm、膝張り 45cm
白毫相 45cm
寄木造り、この仏像の製作
年代は、室町上期と推測される。

20 木造如意輪觀音坐像



像高 55cm、膝張り 40cm、台座高さ 24cm
寄木造り、宋様式の仏像とし
て優れた遺品で、室町上期の
製作と推測される。

21 木造阿弥陀如来坐像



像高 49.8cm
寄木造り、漆箔が施され玉眼
で定印を結んでいる。
鎌倉期の運慶派仏師の作風に学
び江戸時代中期に作られたもの
である。

22 木造傳祐上人坐像



像高 42.8cm 1612年作
袍裳の僧衣を着る僧形像で
ある。宗覚という人物が傳祐
上人の死後、供養のため 66
歳時の肖像画を元に製作し
た寿像である。

23 木造阿彌陀如來及び両脇侍立像



像高 14cm、両脇侍像高 8cm
高山田出身の僧円仲といふ人物
が京都にて手に入れ、像を背負
いながら、日本中を巡礼した。

24 閻魔胎内像・十王像



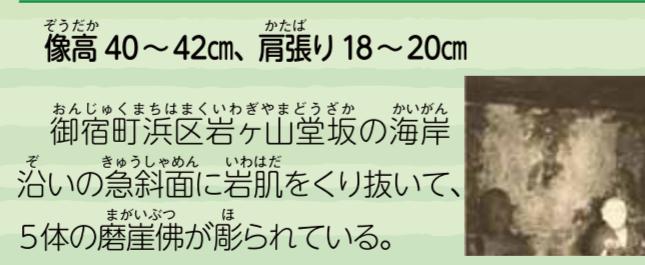
大王坐像高 77cm、肩巾 63cm
膝張り 82cm、各王坐像高 24.4cm
胎内立像高 15cm、肩巾 6.3cm
肘張り 8.8cm
製作年代は江戸初期と推測される。

25 薬師堂の磨崖佛



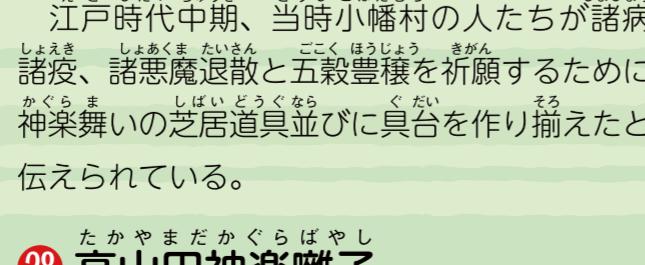
像高 64cm、座巾 60cm
岩和田薬師堂裏の山に地上
230cm奥行き 110cmの洞窟が
削り作られており、釈迦・薬師・地蔵の三尊が慈
観大師によって彫られている。

26 堂坂薬師の磨崖佛



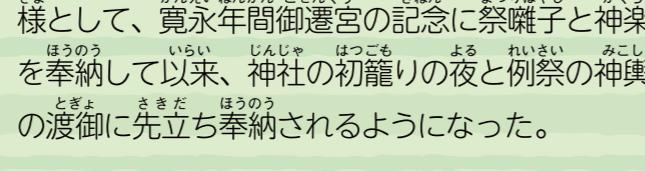
像高 40~42cm、肩幅り 18~20cm
御宿町浜区岩ヶ山堂坂の海岸
沿いの急斜面に岩肌をくり抜いて、
5体の磨崖佛が彫られている。

27 小幡神樂囃子



江戸時代中期、当時小幡村の人たちが諸病
諸疫、諸悪魔退散と五穀豐穀を祈願するために
神樂舞いの芝居道具並びに具台を作り揃えたと
伝えられている。

28 高山田神樂囃子



天寶元年の鏡座と言われている春日神社を氏神
様として、寛永年間御遷宮の記念に祭囃子と神樂
の渡御に先立ち奉納されるようになった。

29 実谷区八坂神社旧神輿の 胴回りの飾り彫刻



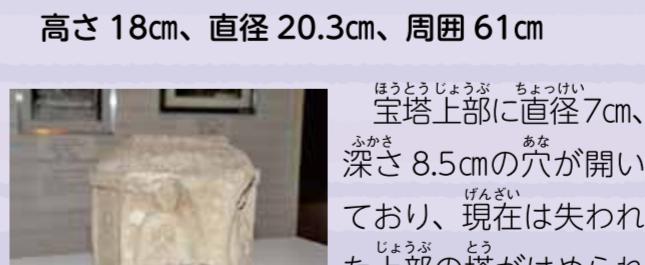
実谷区にあった八坂
神社の社殿が取り壊さ
れる際に、収集して
た神輿も解体された。
このときから外された
胴回りの彫刻は山神社に保管された。彫刻は
上り竜と下り竜、鳥や人が彫られており、縦
24cm、横 39cm。

30 最明寺向拝の獅子頭、 象鼻の彫刻



最明寺建替えの際
に、嵌め込まれていた
東部分に武志伊八郎信
由と墨書きされている
のが発見された。
武志伊八郎信由は現在の鳴川市生まれの宮
彫師で、“波の伊八”の名を広く知らしめた。

31 月夜見神社の宝塔



高さ 18cm、直径 20.3cm、周囲 61cm

宝塔上部に直径 7cm、
深さ 8.5cm の穴が開いて
おり、現在は失われ
た上部の塔がはめられ
ていたと考えられる。

32 久保 行屋跡の宝塔



高さ 21cm、周囲 64cm

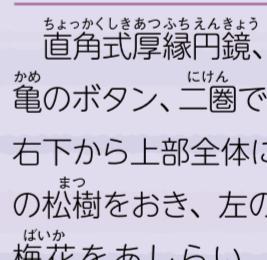
塔の周囲 6 面には縦
18.5cm 横 8cm の枠があ
り、縦 14 cm 横 7.3 cm。
制作年代等詳細は不明だ
が月夜見神社の宝塔と類似していることから、
深い繋がりも推測される。

33 亀甲地双鶴鏡



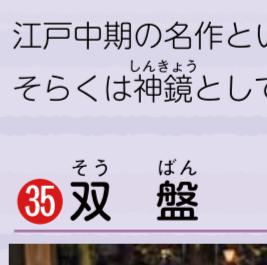
直径 11cm、縁厚 0.9cm
直角式中厚縁鏡、素材
は青銅、亀甲のボタンが
ある。二圈のため室町中期の
作品と推測される。

34 白銅鏡



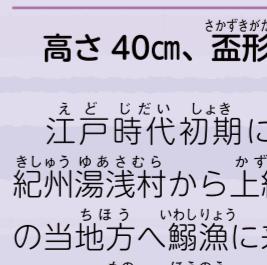
直角式厚縁鏡、亀甲
のボタン、二圈である。
右下から上部全体に一本
の松樹をおき、左の圈に
梅花をあしらい、下部
から左中部に龍とひなが生動している。右の
圈と縁の間に小さく天下一若狭の銘がある。

35 双盤



天台宗で用いる佛
具で、伏鉢の大型な
もので框に取付けて
撞木で鳴らすもので
ある。念佛などの時
に鳴らして調子をと
る鉢であり、また法要開始とか終了などの合団
などに用いる。この双盤は元文 3 年江戸中期の作
で、御宿町に二面とも完全な形で残るものはこれのみで、作者も相当な佛工匠と推測される。

36 堂坂薬師の手洗い鉢



高さ 40cm、盆形
江戸時代初期に、
紀州湯浅村から上総
の当地へ鰯漁に来
ていた者が奉納した
ものである。